

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2026年3月31日	評価番号	A-455		
評価技術名称					連絡先	http://www.				
部分開口 構造用合板補強工法					〒					
真壁「長押」アルミ材下地					電話	Fax				
概要	技術概要				床、天井間のみをアルミアンクルと構造用合板で補強する工法。					
	技術の特徴				コスト		サンプル構面			21,393 円/kN
	<ul style="list-style-type: none"> 土壁・天井・床・長押・付鴨居を解体することなく真壁や入隅に施工が可能。 真壁の仕上がりで補強が可能 壁体内に土壁や設備配管等が存在しても施工可能。 				設計見積り例		—			
	公的機関による技術評価・性能証明				実験実施機関		名古屋工業大学			
機関名				その他						
評価番号										
評価取得日										
仕様	適用範囲				写真・図					
	構法	木造在来軸組工法			<p>部分開口 $a+b \leq 370\text{mm}$ $c \leq 200\text{mm}$ それぞれの構造用合板 高さ 400mm 以上</p> <p>アルミアンクル納まり図 ○</p> <p>柱 / 土壁 / 構造用合板 / アルミアンクル</p> <p>木ビスは斜め</p> <p>悪い納まり例 ×</p> <p>柱 / 土壁</p> <p>木ビスはアルミアンクル短辺の中央付近に打たず、なるべくコーナー付近に打つ</p>					
	規模	3階建て以下								
	基礎、地盤	特になし								
	適用部位	内外壁								
	その他	特になし								
	主要構成部材の仕様				<p>厚 12 @100</p> <p>下地 アルミ アンクル</p> <p>600 ≤ W ≤ 1000</p> <p>真壁 長押</p>					
	構造用合板 厚 12mm 以上				<p>アルミ不等辺アンクル 9×40 t=1.5 またはこれ以上のサイズのもの</p> <p>JIS H4100 の A6063-T5 材(アルミ建築構造設計基準で AS110 材)またはこれと同等の強度を有するもの</p> <p>木ビス(コーススレッド) φ3.8×L32、先孔 φ3</p> <p>アンクル角部を斜め打ち、@100mm 以下</p>					
	タッピングビス φ3×L30、木ビス(コーススレッド)									
	φ3.8×L32、セルフドリルネジ φ4×L30 のいずれか				<p>木ビスは斜め</p> <p>アルミアンクル</p> <p>悪い納まり例 ×</p> <p>柱 / 土壁</p> <p>木ビスはアルミアンクル短辺の中央付近に打たず、なるべくコーナー付近に打つ</p>					
@100mm 以下、川の字打ち				<p>木ビスは斜め</p> <p>アルミアンクル</p> <p>悪い納まり例 ×</p> <p>柱 / 土壁</p> <p>木ビスはアルミアンクル短辺の中央付近に打たず、なるべくコーナー付近に打つ</p>						
耐震性能				<p>天井ライン</p> <p>構造用合板 t=12mm</p> <p>アルミ不等辺アンクル 9×40 t=1.5 またはこれ以上</p> <p>木ビス(コーススレッド) (3.8×32) 先孔 φ3 斜め打ち @100 以下</p> <p>タッピングビス(3×30)</p> <p>木ビス(コーススレッド) (3.8×32)</p> <p>セルフドリルネジ (4×30) @100 以下</p> <p>構造用合板が浮く場合はアルミアンクルに先孔を用いる</p>						
評価仕様: アルミアンクル下地 真壁仕様				<p>壁基準耐力 3.64kN/m</p> <p>壁基準剛性 511kN/rad./m</p> <p>A-111 からの低減係数 α = 0.7</p> <p>壁基準耐力 5.2 × 0.7 = 3.64</p>						
設計方法				<p>①柱接合部による低減</p> <p>取付部分が健全であること</p> <p>②劣化による低減</p> <p>取付部分が健全であること</p>						
施工者指定				<p>特になし</p>						
その他				<p>H28 年度 ビスの種類追加</p>						